

＜同朋部会＞

【役割・目標】

- ・過去帳差別記載糾弾学習会・点検糾弾会や過去帳等開示問題において明らかになった私たちの課題について、同朋三者懇話会において提起された教学的課題と併せて、組同朋研修会を開催して、一人ひとりが自分の課題として受け止め学び深め、部落差別をはじめとする社会的な「いのちの問題」への理解と解決に努力する。
- ・組同朋研修会は、できるだけ門信徒との課題の共有を図る機縁として内容の充実を図る。
- ・「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」の方針に則り、安芸教区全体の研修課題を明らかにし、同朋研修の具体化を図る。
- ・教区内で起こった差別事象等に迅速に対応するための学習を継続していく。(新「差別事件糾明のための方途」による学び)
- ・「身元調査お断り運動」と新「過去帳等取扱い基準」、また「個人情報保護指針作成」について、継続して教区内に徹底を図る。・

【前年度の報告】

- ・『み教えと差別の現実』をテーマに同朋研修会を各組において実施(23組)
- ・同朋研修会に先立ち、宗派より発行された参考資料『み教えと差別の現実』についての事前学習会を、組長ならびに同朋委員を対象に開催。

期 日	2019年9月25日(水)
場 所	安芸門徒会館「共命ホール」
内 容	参考資料『み教えと差別の現実』
講 師	岩本孝樹さん 一般財団法人 同和教育振興会(事業運営委員会副委員長)
参加者	組長19名 同朋委員27名
- ・同朋三者懇話会参加に向けての協議、発表資料の作成。

【今年度の課題・計画】

- ・組同朋研修会開催に向け、方向性と具体的内容を組み立てる。
- ・これからの組同朋研修会の指針ともなり、教区同朋部員の学びとなる「教区主催の学習会」を開催する。
- ・昨年3月まで継続した同朋三者懇話会は、4月以降中断状態となっており、その動向を見極め対応していく。